

令和3年度 江戸川区立南葛西第二中学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

| | | | |
|--------|---|----------------------------|---|
| 学校教育目標 | 国際社会に貢献できる人間の育成を目指して ・人権を重んじ自他を敬愛する。(礼儀) ・自主自律の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る。(自律) ・心身を鍛え、個性の発揚を図る。(自律) ・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する。(開拓) | 目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像 | ・「生徒が安心して登校できる学校」「保護者・地域から信頼される学校」「教職員が働き甲斐を感じられる学校」 ・「自分を大切に 人を大切に」する生徒 ・「学び続ける教師(人)」をモットーに、自らを成長させ続ける教師 |
|--------|---|----------------------------|---|

| | |
|-------------------|---|
| 前年度までの学校経営上の成果と課題 | <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや問題行動の発生を抑制し、落ち着いた学習環境を整備できた。適切な時期及び内容の情報提供を行うことで、教育活動に対する保護者の十分な理解を得た。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校解消や不登校の未然防止を徹底し、安心して登校できる学校を構築する。主体的に学習する生徒の育成するとともに、適切な広報により保護者の信頼を得る。 |
|-------------------|---|

| 教育委員会重点課題 | 取組項目 | 評価の視点 | 具体的な取組 | 数値目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | 年度末に向けた改善策 | |
|--------------|----------------|---|--|---|------|----|---|----|---|---------------------------------------|
| | | | | | 取組 | 成果 | 成果と課題 | 評価 | | コメント |
| いきいきと学ぶ学校づくり | 確かな学力の向上 | ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 | ・推進プランの見直し…年2回 ・放課後補習教室…年150回 ・教科間交流…年2回 | ・全国学力学習状況調査…都平均 ・到達度テスト…3科平均標準偏差50 | B | C | ○推進プランの見直し…1回 ○放課後補習教室…37回 ●全国学力学習状況調査は都平均を下回った。 | C | 学力向上に向けて引き続き指導を継続していただきたい。 | 授業力の向上のための校内研修会の実施、家庭学習習慣の確立のための指導・啓発 |
| | 読書科の更なる充実 | ・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 | ・(朝読書)課題読書…10回 ・ピリオドバトル…全学年1回 ・読書科の成果物…全学年2点) ・蔵書電子化の推進 | ・(校内アンケート)読書科に関する生徒の満足度…肯定的評価80%以上 ・生徒貸し出し冊数…前年比+20% | C | C | ○課題読書…3回 ○読書科に関するアンケート肯定的評価…85.5% ○貸し出し冊数…前年比+120% ●成果物の作成や探究的学習のための時間が不足した。 | B | 「本好きの生徒」を育て、読書から様々な学ぶ機会を生徒たちに提供していただきたい。 | 読書科における成果物の作成や課題読書を通じた読書への意欲喚起 |
| | 体力の向上 | ・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上 | ・保健体育…毎時補強運動 ・体力向上週間…年5回 | ・(校内アンケート)運動習慣の向上…肯定的評価80%以上 | B | B | ○運動習慣の向上アンケート肯定的評価…96.7% ●向上週間が実施できなかった。 | B | 運動習慣が身につくように、運動の機会を増やしてあげていただきたい。 | 体力向上週間の充実 |
| | オリパラ教育の推進 | ・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実 | ・パラアスリートによる講演会 ・パラリンピック見学 | ・(校内アンケート)オリパラへの関心度…肯定的評価80%以上 | D | D | ●パラリンピック見学ができなかった。 アスリートによる講演会を2学期に実施予定である。 | C | 実際に観戦できなかったことは残念である。 | パラリンピアンによる講演会の実施 |
| | 外国語教育の推進 | ・授業力の向上とALTの効果的な活用 | ・ALT授業の上限実施 ・英語検定受験指導…年3回 | ・英語検定受験者数…全校生徒の30%以上 | C | C | ○第1回英検受験者28名合格者18名 ●受験者を促す活動 | C | 引き続き受験者・合格者が増えるように指導していただきたい。 | 第2回、第3回の英検実施及び受験の奨励 |
| 特別支援教育の充実 | 健全育成に向けた取組の強化 | ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用 | ・校内生徒連絡会…週1回 ・いじめ防止対策委員会…週1回 ・外部情報の共有…月1回 | ・いじめ継続件数…0 ・不登校生徒数…前年比-50% | B | C | ○校内委員会等は定期的を実施し、情報の共有ができた。 ●不登校の解消に至らない事例があった。 | C | いじめをなくすために指導に尽力していただきたい。 不登校解消のために家庭や関係機関と連携を強化していただきたい。 | 校内生徒連絡委員会の充実 家庭との連携の強化 |
| | 特別支援教育の推進 | ・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実 | ・校内特別支援教育推進委員会…週1回 ・特別支援教育に関する校内研修会…年1回 | ・(校内アンケート)授業における満足度…肯定的評価80%以上 | B | C | ○推進委員会は定例化し、校内研修委員会が実施できた。 ●保護者アンケート結果に見られる特別支援教育の啓発・周知が不十分であった。 | B | 一人一人を大切にしたい指導を今後もお願いしたい。 | 学校だけで通じた特別支援教育の啓発活動 |
| | 教員研修の充実 | ・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修 | ・校内研修会…年3回 ・ICT支援員の活用…随時 | ・(自己評価)授業での使用率…各教科全授業の30%以上 | B | C | ○校内研修会…2回 ●授業内での活用促進とオンライン学習の充実 | B | 生徒たちのためとなる研修を継続していただきたい。 | 校内研究授業の実施及び授業の工夫改善 |
| 教員の資質向上 | 主体的対話的で深い学びの充実 | ・4人組での話し合いやタブレット端末を取り入れた学習の充実 | ・校内研究授業…年3回(全学級) | ・(校内アンケート)授業への参加意欲…肯定的評価80%以上 | C | B | ○授業への取組アンケート肯定的評価…87.8% ●コロナ禍により4人組での話し合いを行う場が制限された。 | B | コロナによる生徒たちの対話の不足やスキルの低下がないように、計画的に実践していただきたい。 | 授業改善工夫における話し合い活動の充実 |
| | 生活指導力の向上 | ・生徒理解の深化、早期発見早期解決体制の確立、外部折衝力の向上 | ・会議、打合せでの共通理解、共通行動の確認…随時 | ・(校内アンケート、関係者評価)学校生活満足度…肯定的評価80%以上 | B | B | ○連絡掲示板の活用も含め共通理解が促進した。満足度アンケート肯定的評価…84.4% | B | 落ち着いた学校生活が送れるように、丁寧な指導を継続していただきたい。 | 適切な情報共有による生徒と関わり方の充実や時間の確保 |
| 特色ある教育の展開 | 学校応援団による学習支援 | ・ゲストティーチャーとしての学習支援の充実 ・キャリア教育における外部講師の派遣の充実 | ・ゲストティーチャー…2教科 ・外部講師派遣…年2回 | ・(自己評価)学習支援による充実度…肯定的評価90%以上 | D | D | ●2学期に計画されている学校応援団との連携を実現する。 | C | ゲストティーチャーを積極的に活用していただきたい。 | 美術におけるゲストティーチャーの導入 社会人講話の講師依頼 |